せきおか学校農園新聞

私たちの畑の先生
大垣昌蔵先生と一生懸命取り組んでいる学校農園の様子が、もりもり詰まった新聞です。

四月

【じゃがいも：十日】
じゃがいもの種芋を植えました。一年生は小学校入学して初めての畑作業です。種芋を植えるときには、種芋を半分に切って『あく』をつけます。病気を防いだり、腐ったりしないようにするためだそうです。二年生が教えてくれました。

六月

【さつまいも：三日】
苗を植える前に、土を耕し、マルチでおおいました。マルチでおおうことで、草が生えるのを防いでくれるものです。また、苗は寝かせて植えるほうが実がたくさんなるそうです。

【なす：四日】
ナスもマルチでおおった土に穴をあけて植えました。苗を折ってしまわないように、苗を指ではさんで、植えた後はたっぷり水をあげることも大切です。ナスは乾燥に弱い持ちます。

【きゅうり：十日】
きゅうりの苗は、『かぼちゃの苗』と『きゅうりの苗』で接ぎ木されています。それぞれのたねを植えてしまうと、接ぎ木の部分が折れてしまうことがあります。また、きゅうりは伸びるので、植えるまえに支柱を立て、ネットを張って準備をしました。

【とうもろこし：十日】
ポップコーンにできるとうもろこしを栽培しました。種は三十センチメートル前後の間隔をあけて一カ所につき二・四粒をまきます。まいた後は、かるく土をかぶせ、芽が出やすいようにします。

【玉ねぎ：十日】
昨年の十一月に植えた玉ねぎを収穫しました。直売体験祭や十一月に行うわかしばかるとき、葉の部分が干しておくと、玉ねぎは、束にして、乾燥させます。ベランダに干しておくと、余分なカットします。

すきやのわらは、束にしたり、玉ねぎは、たくさんとれます。

年収穫加減難しいです。昨年は三年生にのし苗をおすそわけしました。

七月と八月

四月から六月にかけて植えた野菜たちがたくさん実をつけました。ナス、ピーマン、トマト、きゅうり。きゅうりは一回の収穫で二十本以上採れることもあります。全校生で少しずつ分けて、家庭へ持ち帰ってサラダにしたり、漬け物にしたりしておいしくいただきました。

九月

【はくさい：四日】
白菜の苗を植えました。苗は一本ずつ土に植えてその上からやさしく土をかぶせます。

白菜の苗→
大きくなったら
いこのくさ